

令和2年度 県政世論調査

～調査ご協力のお願い～

日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、山口県では、県内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただき、県政に関するアンケート調査「県政世論調査」を実施しております。

本年度は、あなた様を対象に選ばせていただきましたので、どうぞ、率直なお考えやご意見をお聞かせください。

ご回答は無記名としており、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に用いることはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、今後の県政運営の基礎資料とさせていただきますので、なにとぞ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年6月

山口県 総合企画部 広報広聴課

ご記入にあたってのお願い

- ◇ 回答は、お送りした封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
- ◇ 次ページ以降の各質問について、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ◇ 「その他」を選ばれた場合は、() 内に具体的に記入してください。
- ◇ 記入された「調査票」は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
6月29日（月）までにポストに投かんしてください。

※ 調査票にお名前を記入される必要はありません。

この調査についてご不明な点や疑問点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施主体】 山口県 総合企画部 広報広聴課 広聴企画班
TEL 083-933-2560

【調査実施機関】 株式会社東京商工リサーチ 山口支店
TEL 0834-22-1060

最初に、生活全般や政治・経済への関心度についておたずねします。

Q1-1 いまのお宅の暮らし向きは、2～3年前に比べて・・・ (○は1つ)

1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない 4. 少し悪くなった 5. 悪くなった

その理由をお書きください ()

Q1-2 いまのお宅の暮らし向きにあなたは・・・ (○は1つ)

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

その理由をお書きください ()

Q1-3 これからのお宅の生活の見通しは・・・ (○は1つ)

1. 明るい 2. やや明るい 3. やや暗い 4. 暗い

その理由をお書きください ()

Q2 あなたは、国や県、市町の政治・経済についてどの程度関心がありますか。(○はそれぞれ1つ)

	大変 関心がある	関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
(1) 国の政治・経済	1	2	3	4
(2) 県の政治・経済	1	2	3	4
(3) 市町の政治・経済	1	2	3	4

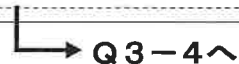
県の行っている広報についておたずねします。

Q3-1 あなたは日頃、県が行っている仕事などの県政情報を何によって知ることが多いですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 県広報誌「ふれあい山口」 | 8. 県が発行する各種パンフレット・チラシ |
| 2. 県政テレビ放送 | 9. 新聞報道 |
| 3. 県政ラジオ放送 | 10. テレビ報道 |
| 4. 県からの新聞広告 | 11. ラジオ放送 |
| 5. 県のホームページ | 12. 市町広報紙 |
| 6. 県のメールマガジン | 13. その他 () |
| 7. 県のソーシャルメディア(フェイスブック等) | |

Q3-2 県全世帯に配布している県広報誌「ふれあい山口」を読んだことがありますか。(○は1つ)

1. 読んでいる 2. ざっと目を通している 3. あることは知っているが読んでいない 4. 知らない



Q3-3 「ふれあい山口」の情報量及び読みやすさについておたずねします。(○はそれぞれ1つ)

- | | | | | |
|------------------------|---------------|---------------|--------|----------|
| (1) 発行回数
季刊発行 (年4回) | 1. 多すぎる 2. 多い | 3. ちょうど
よい | 4. 少ない | 5. 少なすぎる |
|------------------------|---------------|---------------|--------|----------|

Q4-3 「やまぐち維新プラン」では19のプロジェクトを掲げ重点的に施策を推進しています。これに関する県の施策について、あなたの実感についておたずねします。右ページも参考に、いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

【1】産業維新		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
1 「時代を勝ち抜く産業力強化」プロジェクト						
①	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
②	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる	1	2	3	4	5
2 「次代を切り拓く成長産業発展」プロジェクト						
③	医療・環境関連産業や水素の利活用、バイオ関連産業など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる	1	2	3	4	5
④	衛星データ利用の取組や、航空機・宇宙機器産業への県内企業の参入、IoT・ビッグデータ・ロボット・AI活用などの第4次産業革命など、新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
3 「中堅・中小企業の『底力』発揮」プロジェクト						
⑤	ベンチャー企業の成長や、地域経済をけん引する中核的な企業の成長を支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑥	意欲的な中堅・中小企業の新商品・新サービスの開発や新たな事業展開などを支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑦	商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑧	意欲のある人材が「創業」(起業)しやすいように相談体制の整備や融資制度などの環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑨	本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
4 「強い農林水産業育成」プロジェクト						
⑩	地産・地消や6次産業化、担い手の確保、先端技術の活用等による経営基盤の強化・生産拡大など活力ある農林水産業を振興するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

19プロジェクトの主な取組のご紹介

①～⑩の質問に対応した主な取組（令和元年度の取組など）を記載していますので、ご回答の参考にしてください。

① コンビナートの国際競争力の強化に向け、世界最大級の船舶の入港が可能となる港湾整備を実施【R元年度：徳山下松港・宇部港】

② 医療関連、環境・エネルギー分野などの重点成長分野の企業誘致を推進【R元年：企業誘致件数：27件】



③ 水素の利活用による産業振興に向け、コンビナートで大量に生成される水素の活用や企業の水素関連研究開発を推進

医療、環境・エネルギー、バイオ関連分野における企業等の研究開発や事業化を支援【R元年度：事業化件数：9件】

④ IoTを活用した新サービス等を創出する企業を、専門家派遣や補助金等により支援【R元年度：中小企業IoT導入率：13.9%】



⑤ 県内金融機関等と連携したカンファレンスチームを設置し、地域中核企業等への支援を実施【R元年度：訪問企業数：89社】

⑥⑦ ものづくりやサービス業を営む企業に対し、「生産性向上・人材創造拠点」を設置し、コーディネーターや補助金等による支援を実施

⑧ 商工会議所や商工会等と連携し、空き店舗のマッチングなどを行い、創業を希望する者を支援【R元年度：支援による創業数：208件】

⑨ 企業が求める産業人材の確保に向け、「山口しごとセンター」で、若者、女性、シニア、プロフェッショナル人材のマッチング等を実施【R元年度：就職決定者（山口しごとセンター登録者）：3,816人】



⑩ 新規就業者に対して、全国トップ水準の給付金などによる支援に加え、技術習得から生活全般へのトータルサポート体制を構築

中核経営体の経営基盤強化のため、専門大学等による経営分析、マネジメント研修、農業機械・施設等の整備など、総合的な支援を実施



【2】大交流維新		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
5 「交流を拡げる基盤整備」プロジェクト						
⑪	空港の便数や新幹線の停車回数など交通拠点の利便性や、交通拠点と観光地などを結ぶ二次交通の充実、道路網整備など、交通ネットワークの整備が進んでいる	1	2	3	4	5
⑫	海外自治体等との国際交流や、多文化共生を深めるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
6 「選ばれる観光目的地やまぐち実現」プロジェクト						
⑬	観光資源やおもてなしの充実や、スポーツ・文化資源の活用など、観光客や来県者を増加させる取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑭	海外からの観光客を増加させるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
7 「国内外での新たな市場開拓」プロジェクト						
⑮	首都圏や関西圏などに、山口県の魅力や県産品等売り込むための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑯	中小企業の海外展開や農林水産物・加工品の海外輸出を促進するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
8 「やまぐちへの人の還流・移住・定住促進」プロジェクト						
⑰	県外からの移住・定住者を増やすための取組（UJIターンなど）が進んでいる	1	2	3	4	5

【3】生活維新		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
9 「結婚、妊娠・出産、子育て応援」プロジェクト						
⑱	結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる	1	2	3	4	5
⑲	安心して子どもを生み育てるための周産期・小児医療体制の整備などが進んでいる	1	2	3	4	5
⑳	児童虐待の防止や子どもの貧困対策など、困難を有する子どもへの支援が進んでいる	1	2	3	4	5

- ⑪ 国際チャーター便運航促進のため旅行商品造成支援等の実施、観光列車などの運行等により観光地へのアクセスを改善

【R元年度：観光列車などの運行：^{まるまる}〇〇のはなし、やまぐち絶景満喫バス】



- ⑫ ホストタウン事業によるスペイン・ナバラ州とのスポーツ交流や、外国人総合相談センターの開設など、国際交流や多文化共生に関する取組を実施

- ⑬ 付加価値の高い体験型コンテンツの造成支援、「そらから魅(み)る超絶景」をはじめとする「絶景」「温泉」「歴史」等の観光5大要素を活かした観光キャンペーンの実施

【R元年度：YAMAGUCHI MAGIC! キャンペーンの実施】



- ⑭ 海外でのプロモーションやクルーズ船の誘致、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致等により、海外からの誘客対策を実施

【R元年：クルーズ船寄港：47回】

- ⑮ 県産品の売り込みの強化を図るため、「地域商社やまぐち」を中心に、首都圏等での販路開拓や情報発信を実施

【R元年度：問屋系展示会への出展、市町参画による商談会の開催、ご当地商品の開発】



- ⑯ 県内の輸出事業者を育成し、様々な県産品を近隣の物流拠点から低コストで輸出できる体系を構築【R元年度：農林水産物等の輸出商品数：176商品】

- ⑰ 移住促進の取組の強化に向け、東京の移住希望者に向けた講座の開催、県外でも移住相談に対応できる体制の整備などを実施

【R元年度：移住者数：3,100人】



- ⑱ やまぐち結婚応援センターによるマッチングや、子育て世代包括支援センターの設置など、結婚から子育てまで、切れ目のない支援を実施

【R元年度：マッチング件数：1,245件、支援センター設置19市町】



- ⑲ 総合・地域周産期母子医療センターへの支援や、夜間の小児応急処置等への電話相談「#8000」など、周産期・小児医療の体制を整備

【R元年度：小児救急医療の電話相談の件数：8,880件】



- ⑳ 困難を有する子どもへの支援を充実するため、子ども食堂の開設支援など地域で支える「子どもの居場所づくり」の取組拡大や、児童福祉司の増員等を実施

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
10 「やまぐち働き方改革推進」プロジェクト						
⑳	長時間労働の縮減や、仕事と子育て・介護等が両立できる環境整備など、「働き方改革」の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉑	若者の県内就職・定着に向けた支援が進んでいる	1	2	3	4	5
㉒	女性が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉓	高齢者が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
11 「快適な暮らしづくり推進」プロジェクト						
㉔	暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上、都市公園の利用促進など、快適な生活環境づくりのための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉕	再生可能エネルギーの導入促進などの地球温暖化対策の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉖	廃棄物の削減に向けたリサイクルなどの対策や廃棄物の適正処理の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉗	自然環境の保全・活用に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
12 「新時代を創造する人材育成」プロジェクト						
㉘	コミュニティ・スクールが中心となり、学校・家庭・地域が連携・協働して、子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉙	35人学級や少人数指導など、子どもたちの学力向上に向けたきめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉚	特別支援教育の推進に向け、きめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉛	いじめ、不登校対策など、子どもたちの豊かな心の育成に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉜	特色ある学校づくりなど、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉝	大学などが参画した地域づくり活動など、大学などによる地域貢献や地域活性化の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
13 「人を豊かにする環境づくり推進」プロジェクト						
㉞	生涯学び続けるための地域における多様な学習の機会や、自らのスキルアップのための学び直しの機会が充実している	1	2	3	4	5
㉟	文化・芸術活動やスポーツ活動が盛んに行われている	1	2	3	4	5

⑲ 働き方改革実践モデルづくりに向け、「やまぐち働き方改革支援センター」や登録制のアドバイザーにより、企業の取組のサポートを実施
【R元年度：支援センター企業訪問件数：227 件】



⑳ 若者の県内就職・定着のため、県内外の大学生を対象とした県内企業インターンシップを実施【R元年度：インターンシップ参加学生数：825 人】



㉓㉔ 「山口しごとセンター」を設置し、女性や高齢者の就職支援を強化
【R元年度：シニア・女性就職支援コーナー利用件数：815 件】

㉕ バイパスの整備や道路の拡幅、歩道の整備などを実施

公共交通機関の利便性の向上に向け、ノンステップバスの導入、路線バスの交通系ICカードやバスロケーションシステム導入への支援などを実施
【R元年度：交通系ICカード導入支援1社】



㉖ 通勤等での自転車の利用促進や、再エネと連係した家庭用蓄電池の導入への補助などにより、省エネ・創エネ・蓄エネの取組を推進
【R元年度：蓄電池補助255基】

㉗ 食品ロス削減に向けたフードバンク活動の拡大・定着を図る取組を支援
【フードバンクポスト数：34カ所（R2.3.31時点）】



㉘ シカの個体数の調整など、野生鳥獣の適正な管理による生態系の保全や、秋吉台などの自然資源を活用した環境学習の取組を実施

㉙ 全国に先駆け、全ての公立小中学校、高等学校及び総合支援学校等にコミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した取組を実施
【R元年度：コミュニティ・スクールを活用し取組を実施した県立高校等：83.0%】



㉚ 全公立小中学校で35人学級化の維持、少人数指導のための教員加配、学力向上推進リーダー等の配置など、指導体制の整備を実施

㉛ 県独自の技能検定「きらめき検定」、東京パラリンピックを契機としたパラリンピアンとの交流会実施など、障害のある生徒の社会参加を促進
【R元年度：総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職決定率：97.6%】



㉜ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにより、児童生徒等へのカウンセリングや家庭への支援などを実施
いじめや自殺の未然防止に向け、教員への研修などを実施

㉝ 昼間部・夜間部の定時制課程をもつ「下関双葉高校」を開校、光高校と光丘高校を再編統合して、県内初の普通科と総合学科を併せもつ新しい「光高校」の開校に向けた学校づくりを実施



㉞ 県内の大学が持つ知見を活用した共同研究の推進や、大学生が中山間地域を活性化する取組への支援などを実施

㉟ 博物館やセミナーパークにおいて、生涯学習講座を開催するなど、様々な学習の機会を提供

㊱ 「ヨーロッパ絵画美の400年」など、美術館等での企画展の開催や、国内最高峰自転車ロードレース「Jプロツアー」やマウンテンバイク国際大会の誘致
【R元年度：県立美術館入館者数：218,459人】



		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
14 「誰もがいきいきと輝く地域社会実現」プロジェクト						
③7	NPO、ボランティアなどによる県民活動や住民による見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5
③8	男女が性別にかかわらず、個性や能力を発揮できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
③9	高齢者などのシニアが、スポーツ・文化活動や社会貢献活動などに活躍できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
④0	障害のある人に対する理解が進み、障害のある人が就労したり、スポーツ・文化活動を行うことができる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
④1	一人ひとりの人権が尊重されている	1	2	3	4	5
15 「安心の医療・介護充実」プロジェクト						
④2	地域で医療サービスを受けられる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
④3	医療や介護が必要になっても、高齢者が地域で安心して生活できる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
16 「県民一斉健康づくり」プロジェクト						
④4	生活習慣病の予防など、県民の健康づくりに向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
17 「災害に強い県づくり推進」プロジェクト						
④5	地域における防災活動が活発になっている	1	2	3	4	5
④6	大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいる	1	2	3	4	5
④7	学校やホテル・旅館、住宅など、建築物の耐震化が進んでいる	1	2	3	4	5
18 「暮らしの安心・安全確保」プロジェクト						
④8	食品の検査や消費生活センターにおける相談など、食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
④9	安全で安心して暮らせる社会づくりに向けて、犯罪や交通事故の防止に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
19 「人口減少社会を生き抜く地域づくり」プロジェクト						
⑤0	まちの拠点に、生活に必要な福祉・商業施設などを集約するコンパクトなまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑤1	中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑤2	中山間地域の地域資源を活用して、農林漁業などの体験を行う地域交流など、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

- ③⑦ 「ボランティア・チャレンジ」期間のイベントや写真展の実施、ボランティアマッチングサイト「あいかさねっと」の運営などにより、県民活動を推進
- ③⑧ 男性の家事・育児への参画促進を図るため、「家事ハウツー集 ～家事ニケーションで上手にいく 幸せ家族のすすめ～」を作成・配布
- ③⑨ 高齢者のスポーツと文化の祭典「ねんりんピック山口」の開催、老人クラブのコミュニティ・スクールへの参画など、高齢者の活動を支援
【R元年度：ねんりんピック山口：23 種目、2,677 人参加】
- ④⑩ 「障害者芸術文化祭」、「キラリンピック」の開催や、パラアスリートの海外遠征助成など、障害者の活躍を支援
【R元年度：パラアスリート認定選手 10 名（うち 4 名が国際大会出場）】
- ④⑪ 人権ふれあいフェスティバルの開催や、スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動を実施



- ④⑫ 本県出身の医学生に対する修学資金の貸付けや、研修医への指導体制の充実など、若手医師確保に向けた総合的な対策を実施
- ④⑬ 介護人材・生活支援コーディネーターの養成により、介護や生活支援等のサービスを一体的に提供する体制(地域包括ケアシステム)を強化



- ④⑭ 歩数や体重など健康情報を管理する「やまぐち健幸アプリ」の開発、減塩などに取り組む飲食店を拡大するプロジェクトの実施
【取組を行う飲食店数：延べ 484 店（R2.3.31 時点）】



- ④⑮ 地域が主体となった避難体制づくりの支援や、自主防災組織役員等を対象とした研修を実施
- ④⑯ 大規模自然災害に備えるため、道路・橋梁、河川・ダム、砂防堰堤などの整備や老朽化対策を実施
- ④⑰ 施設の耐震化工事のほか、危険なブロック塀の除去への補助を実施



- ④⑱ 県と市町の消費生活相談員による、架空請求などの消費者問題に関する相談体制を整備【R元年度：消費生活相談員の配置市町数：19 市町（全市町）】
- ④⑲ うそ電話詐欺被害を防止するための戸別訪問活動や、高齢者を対象とした交通安全指導を実施【R元年度：戸別訪問活動：1,358 回（延べ 13,314 世帯）】
【R元年：高齢者対象の安全教育：1,065 回（延べ 29,956 人）】



- ⑤⑩ 住宅や福祉・商業施設などを一定の区域に集約するため、市町が進めている「立地適正化計画」の策定を支援
- ⑤⑪ 集落の枠を超えた広い範囲(複数の集落)で、生活交通や買い物などの生活環境の維持・充実を図る「やまぐち元気生活圏」づくりを支援
【R元年度：やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数：59 地域】
- ⑤⑫ 地域交流の機運を醸成するセミナーの開催や、地域交流の主体となる担い手組織の立ち上げりを支援【R元年度：セミナー参加者：延べ 89 人】



【4】行財政基盤の強化

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえな い	どちらかとい えばそう は思わない	そうは 思わない
㊸ 県と市町が連携・協力して様々な事業に取り組み、住み良い地域づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㊹ 県の職員数の適正管理や財政の健全化など、県の行財政基盤の強化に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5

Q4-4 今後の県づくりを進めていく上で、県が重視すべき事項等についてのご意見があれば、その内容を記述してください。

その他、県が取組を進めている12項目についておたずねします。

1 防災・減災対策について

Q5-1 あなたの家庭では、台風や地震などの災害に備え、どのような防災対策を行っていますか。
(〇はいくつでも)

1. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など、非常持出品を準備している	5. ハザードマップで危険箇所を確認している
2. 食料や飲料水を備蓄している	6. 避難場所や避難経路を確認し、決めている
3. 家具などを固定化し、転倒防止を図っている	7. 家族との連絡方法・待ち合わせ場所を決めている
4. 防災情報を入手するため、防災メールやSNSなどに登録している	8. その他 ()
	9. 特に対策をとっていない

Q5-2 あなたは、過去1年間に、お住まいの地域や職場などでの防災活動(シェイクアウト訓練※)、防災訓練、研修・講演などへの参加)に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

1. 防災訓練(シェイクアウト訓練を含む)に参加した	3. その他 ()
2. 研修・講演会等に参加した	4. 参加していない

※合図に併せ、「DROP!(まず低く!)」、「COVER!(頭を守り!)」、「HOLD ON!(動かない!)」の三つの行動をとる訓練

2 山口県救急安心センター事業(救急医療電話相談「#7119」)の利用について

山口県の救急医療電話相談「#7119」とは、県民の皆さんの救急医療相談に応えるため、相談ダイヤル「#7119」、または「083-921-7119」により、急な病気やケガをしたときに、「救急車を呼んだほうがいいのか、今すぐ病院に行ったほうがいいのか」など迷った際に、看護師等から電話でアドバイスを受けられるサービスです。

なお、岩国市、和木町では、「広島広域都市圏の救急相談センター事業(#7119)」、萩市、阿武町では、「萩・阿武健康ダイヤル24」として実施されている同様のサービスは、本調査の対象としていません。

Q6-1 あなたは、本県実施のこのサービスを利用したことがありますか。(〇は1つ)

1. 利用したことがある	3. サービスを知らない	→Q6-3へ
2. サービスは知っているが、利用する機会がなかった	4. このようなサービスは利用しない	

Q6-2 このサービスを何でお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. ポスターの掲示 | 4. テレビ、ラジオの放送 |
| 2. 配布されたチラシ | 5. 県のホームページ |
| 3. 市町発行の広報紙の掲載記事 | 6. その他 () |

Q6-3 このサービスについて、どの項目にご要望がありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 繋がりやすさ (回線数) | 4. 提供する情報の内容 |
| 2. 相談員の対応 | 5. 広報の方法 |
| 3. 対応可能な通信キャリア (事業者) 数 | 6. その他 () |

3 消費生活に関することについて

Q7-1 あなたは、強引な勧誘や詐欺的な勧誘を受けた場合や、そのような勧誘により契約を締結してしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 市町や消費生活センターなど行政機関の相談窓口 | 8. 近所の人 |
| 2. 警察 | 9. 民生委員、ホームヘルパーなど |
| 3. 弁護士、司法書士などの専門家や法テラス | 10. その他 () |
| 4. 消費者団体 | 11. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない |
| 5. 同居している家族・親族 | 12. 誰かに相談しようとは思わない |
| 6. 同居していない家族・親族 | 13. わからない |
| 7. 友人、同僚など | |

4 食の安心・安全について

Q8-1 あなたは、日常の生活で食品に不安をお持ちですか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 非常に不安 | 2. 少し不安 | 3. 不安はない |
|----------|---------|----------|

Q8-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。(〇はそれぞれ1つ)

	非常に不安	少し不安	不安はない	わからない
1. 細菌やウイルスなどによる食中毒	1	2	3	4
2. 農産物への農薬等の残留	1	2	3	4
3. 食品添加物の安全性	1	2	3	4
4. 輸入食品の安全性	1	2	3	4
5. 食品の産地表示の信頼性	1	2	3	4
6. 食品の期限表示の信頼性	1	2	3	4
7. アレルギー物質の含有	1	2	3	4
8. BSE (牛海綿状脳症)	1	2	3	4
9. 遺伝子組換え食品の安全性	1	2	3	4
10. ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	1	2	3	4
11. 放射性物質による汚染	1	2	3	4

Q8-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

(1) 食品関連事業者に望む取組 (〇は2つまで)	
1. 法令遵守などの倫理意識の向上	4. 食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供
2. 衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進	5. その他 ()
3. 原産地や期限表示などの適正な表示の徹底	
(2) 消費者に必要な取組 (〇は2つまで)	
1. 食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得	4. 産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流
2. 食品表示制度の理解と購入時における確認	5. その他 ()
3. 見た目や値段より安全性の重視	
(3) 県に望む取組 (〇は2つまで)	
1. 生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底	4. 食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進
2. 食品に対する検査の徹底と結果の公表	5. その他 ()
3. 食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供	

5 生物多様性について

Q9-1 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 言葉の意味を知っている | 3. 聞いたこともない |
| 2. 意味は知らないが言葉は聞いたことがある | 4. わからない |

「生物多様性」とは、様々な生き物がいたり、山、川、海など生き物が暮らせる豊かな自然があることです。この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。

Q9-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 絶滅のおそれのある野生動植物の保護 | 7. 里地里山、里海の保全・再生 |
| 2. アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止 | 8. 森・里・川・海の一体的な保全・再生 |
| 3. 国立公園等の優れた自然環境の保全 | 9. 環境保全型農業など生物に配慮した農林水産業の振興 |
| 4. エコツアーや自然観察会等の自然とふれあう機会の提供 | 10. 産業活動や開発事業における野生生物や自然環境への配慮 |
| 5. イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策 | 11. 学校等での環境教育、環境学習の推進 |
| 6. 豊かな森林づくりの推進 | 12. 県民への生物多様性に関する普及啓発 |
| | 13. 特に必要ない |

6 北朝鮮による拉致問題について

Q10-1 あなたは、「北朝鮮による拉致問題」について、どの程度関心をお持ちですか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 大いに関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 全く関心がない |

Q10-2 「北朝鮮による拉致問題」の解決には、県のどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 県民世論を喚起するため、北朝鮮による拉致問題の周知を図る取組(パネル展示、マスメディアでの広報等)を積極的に行う | 3. 政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う |
| 2. 拉致被害者ご家族を支援する団体の活動(署名、募金等)に対して、積極的に協力する | 4. 他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる |
| | 5. その他() |

Q10-3 「北朝鮮による拉致問題」の解決に向けて、あなたは、今後どのように協力していきたいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|------------------------------------------|
| 1. 北朝鮮による拉致問題に関する集会等の行事に参加する | 4. 知人や友人に、北朝鮮による拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う |
| 2. 街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する | 5. ブルーリボンバッジを着用する |
| 3. 街頭などで行われる署名や募金に応じる | 6. その他() |
| | 7. 特に協力は考えていない |

7 食育について

Q11-1 あなたは、「食育」について関心がありますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 関心がある | 4. 関心がない |
| 2. どちらかといえば関心がある | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば関心がない | |

Q11-2 主食(ごはん、パン、麺など)・主菜(肉、魚、卵、大豆製品などを使ったメインの料理)、副菜(野菜、きのこ、いも、海藻などを使った小鉢・小皿の料理)を3つ揃えて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日ありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 3. 週に2~3日 |
| 2. 週に4~5日 | 4. ほとんどない |

Q11-3 あなたは、日頃の健全な食生活を実践するため、どのような指針等を参考にしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 食事バランスガイド(※1)や3色分類(※2) | 3. 特に参考にしていない |
| 2. その他の指針等 | |

※1 「食事バランスガイド」: 「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマで示したもの

※2 「3色分類」: 食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの

Q11-4 あなたは、生活習慣病の予防や改善のために普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 実践している | 2. 実践していない |
|-----------|------------|

Q11-5 あなたは、朝食を毎日食べますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 週に1日 |
| 2. 週に4～5日 | 5. ほとんどない |
| 3. 週に2～3日 | |

Q11-6 家族と同居している方のみお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	ほとんどない
朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか	1	2	3	4	5
夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか	1	2	3	4	5

Q11-7 地域や所属コミュニティ(職場等を含む)での食事会等の機会があれば、あなたは参加したいと思いませんか。(〇は1つ)

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 1. とてもそう思う 2. そう思う </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. 全くそう思わない </div>	→Q11-9へ
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------

【Q11-7で「1. とてもそう思う」「2. そう思う」と回答した方に】

Q11-8 あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティでの食事会等に参加しましたか。(〇は1つ)

1. 参加した	2. 参加していない
---------	------------

Q11-9 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。(〇は1つ)

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 1. 受け継いでいる </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 2. 受け継いでいない </div>	→Q11-11へ
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------

【Q11-9で「1. 受け継いでいる」と回答した方に】

Q11-10 あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を、地域や次世代(子どもや孫を含む)に対して伝えていますか。(〇は1つ)

1. 伝えている	2. 伝えていない
----------	-----------

Q11-11 あなたは、ゆっくりよく噛んで食べる等の食べ方に関心がありますか。(〇は1つ)

1. 関心がある	4. 関心がない
2. どちらかといえば関心がある	5. わからない
3. どちらかといえば関心がない	

8 健康サポートを担う薬局・薬剤師の活用状況について

Q12-1 1年以内に薬局を利用していますか。その理由はどのようなことでしたか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 処方せんの薬をもらうため | 6. 健康機器の使用のため |
| 2. 市販薬の購入のため | 7. 薬局が開催する催し物のため |
| 3. 医薬品以外の物の購入のため | 8. その他 |
| 4. 薬の相談のため | 9. 利用していない |
| 5. 健康相談のため | |

Q12-2 薬剤師は、気軽に健康相談を受けていることをご存じですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

Q12-3 健康サポート薬局をご存じですか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 名称のみ知っている | 3. 知らない |
|----------|--------------|---------|

健康サポート薬局：県民が主体的に行う健康の保持増進への取組を積極的に支援する薬局

◆具体的な内容◆

- ①健康サポートに関する専門の研修を修了した薬剤師がいつでも相談対応
- ②相談内容によって、医療機関での受診の提案や、介護施設などの紹介
- ③専門知識を持った薬剤師による市販薬や健康をサポートする健康食品、介護用品などの適切な商品選びのお手伝い
- ④週末も営業していて、お休みの日も気軽に薬局に相談
- ⑤プライバシーに配慮した相談スペースを用意
- ⑥どなたでも参加できる生活習慣や栄養相談、健康に関する相談や勉強会などのイベントの開催
- ⑦機器を使用する等による健康チェックや健康診断等の検査項目の解説、病気予防に向けたアドバイス

Q12-4 健康サポート薬局の見つけ方をご存じですか。(〇は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

健康サポート薬局の多くは、「健康サポート薬局」の表示や健康サポート薬局のロゴマークを表示しています。



Q12-5 薬剤師・薬局に期待することはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 健康相談会の開催 | 11. 豊富な健康知識 |
| 2. 健康情報の発信 | 12. 医薬品の情報発信 |
| 3. 健康機器の設置 | 13. 医療機関等の関係機関と連携した対応 |
| 4. 健康機器を利用したアドバイス | 14. 在宅訪問による医薬品管理 |
| 5. 適切な健康サポート商品の紹介 | 15. 土日・夜間の相談対応 |
| 6. 市販薬の充実 | 16. 薬局が利用しやすい場所にある |
| 7. 衛生用品、介護用品の充実 | 17. 気軽に利用しやすい(入りやすい)薬局構造 |
| 8. 健康食品の充実 | 18. 薬局外での相談・啓発活動 |
| 9. 専門的な薬剤師の複数配置 | 19. プライバシーに配慮した相談コーナー |
| 10. 特定の分野(例：がん、糖尿病など)の専門性 | |

9 多文化共生について

Q13-1 あなたは、「多文化共生」(地域住民と外国人が互いを認め合い共に暮らしていくこと) という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている 2. 意味は知らないが聞いたことはある 3. 知らない

Q13-2 あなたは、多文化共生の推進について、どう思いますか。(〇は1つ)

1. 大変重要だと思う 2. それほど重要とは思わない 3. 重要ではない 4. わからない

Q13-3 日常生活において、あなた自身が外国人と関わることについてどう思いますか。(〇は1つ)

1. 積極的に関わりたい 2. 機会があれば関わりたい
3. それほど関わりたいと思わない 4. わからない

Q13-4 あなたは、県内に在住する外国人にどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

1. 出身国の文化や言葉を紹介してほしい 2. 住民との交流や行事へ参加してほしい
3. 日本語を覚えて使ってほしい 4. 日本で就労・就学してほしい
5. 日本の法律・ルールを守ってほしい
6. その他:()

Q13-5 今後、多文化共生を推進していくためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 日本人と外国人の積極的な交流 2. 日本人に対する多文化共生に関する普及啓発
3. 外国人に関する相談窓口の設置・拡充 4. 外国人に対する日本語教育
5. 外国人の就学・就労・生活環境の改善
6. 外国人に対する日本の生活に関する情報提供や普及啓発
7. その他:()

10 運動・スポーツの実施状況について

Q14-1 あなたは、過去1年間に、どの程度、「運動・スポーツ(※)」を行いましたか。(〇は1つ)

※ 陸上競技・水泳・球技・武道・マリンスポーツ、ウインタースポーツ等の他、グラウンドゴルフ・ソフトバレー等のレクリエーションスポーツ、サイクリング、トレッキング・釣り等のアウトドアスポーツ、ウォーキングや軽い体操、運動を目的とした自転車や徒歩での通勤・通学等を含みます。

1. 週に3日以上(年150日を超える程度) 4. 3か月に1~2日程度(年4~11日程度)
2. 週に1~2日程度(年51~150日程度) 5. 年に1~3日程度
3. 月に1~3日程度(年12~50日程度) 6. 行わなかった →Q14-3へ

Q14-2 どのような「運動・スポーツ」を行いましたか。(〇はいくつでも)

1. 競技スポーツ(球技以外)
(陸上競技、水泳等) 6. マリンスポーツ
(ヨット、サーフィン、カヌー等)
2. 球技(屋外)
(野球、テニス、ゴルフ等) 7. アウトドアスポーツ
(サイクリング、登山、釣り等)
3. 球技(屋内)
(バレーボール、卓球等) 8. レクリエーションスポーツ
(グラウンドゴルフ等)
4. 武道
(柔道、剣道、空手、弓道等) 9. トレーニング・健康づくり
(ウォーキング、ヨガ等)
5. ウィンタースポーツ
(スキー、スケート等) 10. 自転車や徒歩での通勤・通学等(※運動目的)

13 日常よく利用する道路について

Q17-1 大雨や地震の際において、安心できる道路網であると思いますか。(〇は1つ)

1. 非常に安心できる	4. やや不安
2. ほぼ安心できる	5. 非常に不安
3. どちらともいえない	6. わからない

「4. やや不安」、「5. 非常に不安」と回答した方におたずねします。

不安と感じる要因は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 集落が孤立する可能性がある
2. 山道を通る必要があり、事故の危険性がある
3. よく使う道路に通行規制がかかり、移動に時間がかかる
4. ライフライン(電気、水道、ガス等)の遮断の恐れがある
5. 崖くずれなど災害の可能性はある
6. その他(具体的に:)

Q17-2 よく使う道路の維持管理状況をどう思いますか。(〇は1つ)

1. 非常に満足	4. やや不満
2. ほぼ満足	5. 非常に不満
3. どちらともいえない	6. わからない

14 コミュニティ・スクールについて

Q18-1 山口県では、すべての公立小中学校にコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組みが導入されており、保護者や地域住民の声を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進しています。あなたは、校区の小中学校が「コミュニティ・スクール」であることをご存じですか。(〇は1つ)

1. 知っている	2. 知らない	→Q18-3へ
----------	---------	---------

Q18-2 「コミュニティ・スクール」について以下のことをご存じでしたら〇をつけてください。(複数回答可)

1. コミュニティ・スクールは、県内全ての特別支援学校に導入されている
2. コミュニティ・スクールは、県内全ての公立高校にも導入されている

Q18-3 あなたがお住まいの地域と地域にある学校(小学校、中学校いずれについてでも可)との関係について、あなたはどの程度そう思いますか。そう思う程度を教えてください。(〇はそれぞれ1つ)

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1. お住まいの地域にある学校は、親しみやすい	1	2	3	4	5
2. 学校は、学校の授業や様々な活動の様子を、学校だよりやホームページで地域住民に知らせている	1	2	3	4	5
3. 学校は、育てたいと思う子ども像や理念を保護者や地域住民と共有しようとしている	1	2	3	4	5

F 6 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|----------|---------|---------|------------|---------|
| 1. 岩国市 | 5. 上関町 | 9. 下松市 | 13. 宇部市 | 17. 萩市 |
| 2. 和木町 | 6. 田布施町 | 10. 周南市 | 14. 美祢市 | 18. 長門市 |
| 3. 柳井市 | 7. 平生町 | 11. 防府市 | 15. 山陽小野田市 | 19. 阿武町 |
| 4. 周防大島町 | 8. 光市 | 12. 山口市 | 16. 下関市 | |

調査にご協力をいただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）により、6月29日(月)までに投かんをお願いいたします。

